

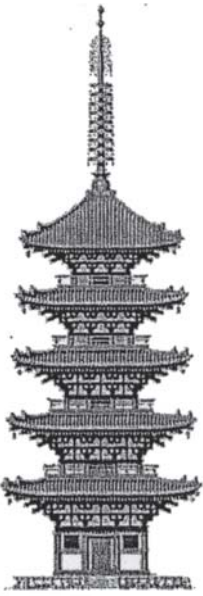
# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



あけましておめでとうござ  
います。足かけ十一年目に入  
ったかわら版。今年もどうぞ  
よろしく願います。今年  
のテーマは、最澄・空海に至  
る飛鳥・奈良時代の仏教です。

★輸入仏教 教学仏教 実践仏教

聖徳太子が亡くなったのは  
六二一年、最澄誕生は七六六  
年、空海誕生は七七四年。こ  
の間の約百五十年間は飛鳥・  
奈良時代です。

飛鳥時代は、聖徳太子が撰  
政になった推古天皇元年(五  
九三年)から、持統天皇によ  
る藤原京遷都(六九四年)ま  
での頃と定義されています。

その後、元明天皇による平  
城京遷都(七一〇年)を経て、  
桓武天皇による平安京遷都(七  
九四年)までの頃が奈良時代  
と言われています。

倭への仏教公伝は五三八年。  
その後、飛鳥時代までは言わ

輸入仏教の時代。仏教は異国  
の文化・宗教でした。  
しかし、奈良時代には仏教  
の内容を理解しようとする動  
きが広がり、教学仏教の時代  
に入りました。

そして、最澄と空海による  
平安時代初期の仏教。教学だ  
けでは足らざる点を補う実践  
仏教です。

## ★奈良仏教の三巨人

大化改新(六四五年)を契  
機に、仏教の主導的立場は蘇  
我氏から天皇家に引き継がれ  
ました。

飛鳥時代と奈良時代の境目  
に当たる七〇一年(大宝元年)  
には、文武天皇が大宝律令を  
定め、国家としての体裁をさ  
らに整えました。

そして、遣唐使として派遣  
された粟田真人が唐に対して  
初めて「日本」という国号を  
用いた。倭国から日本国へと変  
わった年に当たります。

初期の氏族仏教から国家仏教  
へと変遷していきます。  
聖徳太子没後、最澄・空海  
に至る過程で日本仏教を支え

たのは、続々と隋・唐への留  
学から帰国した倭人僧。その  
後は、役行者(えんのぎょう  
じゃ)、行基、鑑真の三人で  
す。

今年のかかわら版は、聖徳太  
子没後の動きと、奈良仏教の  
三巨人についてお伝えします。

## 奈良仏教の三巨人



鑑真

行基

役行者

## ★推古天皇の仏教改革

聖徳太子の晩年、有力豪族  
の氏寺や大勢の僧尼が誕生し、  
仏教は隆盛しました。日本書  
紀によれば、四十六か寺、僧  
尼一三八五人に及んでいたと  
記されています。

その一方、推古天皇は、教  
義の理解も十分でない僧尼の  
言動に問題を感じていたよう  
です。

聖徳太子没後三年の六二四  
年、僧による傷害事件が発生。

激怒した推古天皇は仏教界を  
肅正しようとし、  
観勒(かんろく)の弁明に  
よって肅正は免れたものの、  
推古天皇は仏教改革を断行。  
同年に関する日本書記は次の  
ように記しています。

「道人も法を犯す。何を以て  
か俗人をおしえむ。故(ゆえ)、  
僧正・僧都を任(め)して僧尼  
を檢校(かんが)うべし」(四  
月十三日条)

「観勒を以て僧正、鞍部徳  
積を以て僧都、阿曇連(あづ  
みのむらじ)を以て法頭(ほ  
うず)とす」(同十七日条)

「寺、僧尼を校(かんが)  
えて、つぶさにその寺の造れ  
る縁、僧尼の入道(おこな)  
う縁、度せる年月日を録す」  
(同九月三日条)。

つまり、寺と僧尼の管理・  
統制と現状調査を命じたと言  
えます。

## ★留学僧の活躍

その二年後の六二六年、蘇  
我馬子が没します。倭国仏教  
を牽引してきた聖徳太子と蘇  
我馬子の逝去、推古天皇の改  
革により、単に寺を創建し、  
僧尼を増やす時代は節目を迎  
えます。

来月はその後の倭国仏教を  
支えた留学僧についてお伝え  
します。随・唐への留学から  
続々と帰国します。乞(ご)期待。

